

高等専門学校等スタートアップ教育環境整備事業

KOSEN Start-up Project

In recent years, there has been an increasing number of cases in which students of Japanese colleges of technology education are starting businesses and working with alumni in start-up companies by utilizing the high technical skills, motivation to contribute to society, and free imagination that they cultivated through technology education.

In response to MEXT "Startup Educational Environment Improvement Project for Technical Colleges, etc. in 2022, ", our school has established entrepreneurship education throughout the college to achieve synergy effects between engineering and business. We have set up Ban'yo garage (entrepreneurial workshop) to create an environment where students can freely try out practical activities such as prototyping products and developing services.

There have been social expectations for initiatives that leverage the advantages of Japanese colleges of technology education in order to approach and solve social issues, as well as to promote economic growth and accelerate the development of start-ups.

近年、高専生が高専教育で培った高い技術力、社会貢献へのモチベーション、自由な発想力を活かした起業やベンチャー企業でOB・OGが活躍する事例が増えてきています。

2022年度の文部科学省「高等専門学校等スタートアップ教育環境整備事業」採択を受け、本校では従来からの工学系とビジネス系とのシナジー効果によるアントレプレナーシップ教育を全学的に展開すると共に、磐陽テックガレージを設置し、自由にプロダクトの試作やサービスの開発などの実践的な活動にチャレンジできる環境を整備しました。

経済成長を促し社会的な課題にアプローチし解決するスタートアップ人材の育成を加速するため、高専の優位性を活かした取組みに社会からの期待が寄せられています。

1. 将来の選択肢の一つとして「起業」を知る授業

これまでの学校教育は「与えられた問題を正しく解く」ことに重点が置かれてきましたが、現在は「解くべき問題を自ら発見して積極的に解決する」ことが求められるようになってきました。このような教育は起業家に必要とされる能力と重なる部分が多いことから、アントレプレナーシップ教育が注目されています。

「新事業開発」 ビジネスコミュニケーション学専攻から対象を全専攻に拡大

起業事例の紹介やビジネスプランの作成方法などの講義の他、ビジネスモデルやビジネスプランの発表や資金・利益計画策定などの演習を行います。

「アントレプレナーシップ実践」 本科4年 選択1単位 令和5年度開講

起業に必要な知識を国内外の事例や理論から学びます。また、学生の専攻分野における課題抽出を行い、学生がこれまで学修した知識と技術力を活用した課題解決型のビジネスアイデアを創出し、審査員に向けたピッチ（発表）を行います。アントレプレナーシップを実践的に学ぶことを通じて、社会人基礎力も醸成します。

「アントレプレナーシップ入門」 本科1年 選択単位 令和5年度開講

アントレプレナーシップを学ぶことは、起業のためだけではなく、社会で必要な知識やスキルの習得につながります。この授業では、アントレプレナーシップの基礎を学ぶことにくわえ、学科横断型のグループでビジネスアイデアを創出するワークを取り入れ、実践力を育成します。

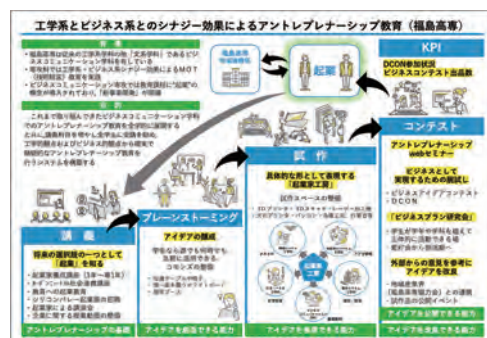
2. 磐陽テックガレージの整備

アントレプレナーシップの育成を目的に、学生の自由なアイデアを形にするための試作スペースとして地域環境テクノセンター1階に整備されました。磐陽テックガレージは、素材の加工・切削などを行う「工房」と音響設備・動画制作などを行う「スタジオ」で構成されています。

授業、課外活動等で学科・学年を問わず、全学生が主体的にモノづくり・コトづくり活動を行える場として活用されています。

主な設備

- ・3Dプリンター（熱溶解造形、光造形）、カーボン3Dプリンター、UVプリンター
- ・3Dスキャナー、3Dモデリングマシン・レーザー加工機、真空成型機、塗装ブース
- ・ボール盤、卓上旋盤、CNCフライス盤、バンドソー
- ・映像音声収録・編集配信システム
- ・6K/4Kカメラ、コンデンサマイク、ミキサー、スイッチャー、PA、照明、クロマキーセット、HDMIコンバータ、DaVinci Resolve
- ・MR (Mixed Reality) 機材 Microsoft HoloLens、Meta Quest



スタートアップ教育の事業イメージ



アントレプレナーシップ入門授業



磐陽テックガレージ